

- 2面 上落合二丁目(一部)と三丁目に新たな防火規制の導入を検討しています
- 3面 女性の健康週間イベント「なるなるフェスタ2014」
- 5面 おちごなかい子ども園、大木戸子ども園 4月からの定期利用保育
- 8面 あなたのまちの地域危険度



しんじゅくコール

☎(3209)9999 FAX(3209)9900
土・日曜日、夜間もご案内 午前8時～午後10時

発行 新宿区 編集 区政情報課 (毎月5・15・25日発行)
〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1 ☎(3209)1111
ホームページ <http://www.city.shinjuku.lg.jp/>
携帯電話版 <http://www.city.shinjuku.lg.jp/m/>



携帯電話用二次元コード

改訂 しました

新宿区地震ハザードマップ

いざというときに備えて まちの状況を確認

首都直下地震や南海トラフ巨大地震発生の切迫性が指摘され、東京でもマグニチュード7クラスの地震がいつ起きてもおかしくないといわれています。大地震が起きたときの被害を最小限にするため、区では、地震によるまちの危険度を区民の皆さんにお知らせする「新宿区地震ハザードマップ」を作成しています。

昨年、東京都が「東京の液状化予測図」を見直し、また、第7回地域危険度測定調査の結果を公表したことに伴い、区では地震ハザードマップを改訂しました。マップには、「地域危険度」「がけ・擁壁、急傾斜地等の分布状況」を掲載しています。この機会に、お住まいの地域の状況を確認するとともに、建物の耐震化や地域の防災対策を考えるきっかけとしてご活用ください。

【問合せ】建築指導課構造設備担当(本庁舎8階) ☎(5273)3745・☎(3209)9227へ。



あなたのまちの地域危険度

地震が起きると、建物の倒壊や火災の延焼が大きな被害を及ぼす可能性があります。ハザードマップには、東京都が測定した大地震が起きた際の「地域危険度」を、お住まいの地域別に掲載しています。町丁目ごとに、建物倒壊や火災の危険性の度合いを5つのランクに分けています。

がけ・擁壁、急傾斜地等の分布状況

区内の地形は起伏に富んでいます。ハザードマップの表面の地図では、がけ・擁壁の位置や、崩壊の危険がある急傾斜地が確認できます。また、地震で地盤が揺すられたときに液状化する可能性がある地域を掲載しています。

改訂の ポイント

災害時の活動困難度を考慮した 地域危険度が加わりました

地域危険度の測定調査は、東京都震災対策条例に基づき、都がおおむね5年ごとに実施しています。昨年の調査では、これまでの3つの危険度(建物倒壊危険度、火災危険度、総合危険度)とともに、災害時の避難や消火・救助活動の困難さを考慮した地域危険度も測定しています。

改訂の ポイント

液状化の可能性がある地域を 見直しました

液状化は、地下水位が高く、地盤が砂状で緩い場所で発生すると考えられています。

東日本大震災での液状化被害を受け、東京都では、ボーリング調査のデータ、地形図・地質図、過去の地震による液状化の履歴を基に、液状化予測図を見直しました。新宿区内では、「一部または全部が液状化の可能性がある」と予測された町丁目が、これまでの4か所から19か所増えて23か所になっています。

- 従来から「液状化の可能性がある地域」に含まれている町丁目
 - ▶ 揚場町
 - ▶ 神楽河岸
 - ▶ 神楽坂一丁目
 - ▶ 下宮比町
- 今回新たに「液状化の可能性がある地域」に含まれた町丁目
 - ▶ 愛住町
 - ▶ 市谷仲之町
 - ▶ 市谷本村町
 - ▶ 市谷船河原町
 - ▶ 岩戸町
 - ▶ 神楽坂二丁目～六丁目
 - ▶ 片町
 - ▶ 河田町
 - ▶ 白銀町
 - ▶ 住吉町
 - ▶ 津久戸町
 - ▶ 筑土八幡町
 - ▶ 富久町
 - ▶ 西新宿五丁目
 - ▶ 四谷四丁目



8面では、地域危険度の種類を説明しています。また、区内の町丁目ごとに災害時活動困難度を考慮した総合危険度を掲載しています。

◀ 新宿区地震ハザードマップは、2月17日(月)から、建築指導課(本庁舎8階)、危機管理課(本庁舎4階)、区政情報センター(本庁舎1階)、特別出張所で配布します。新宿区ホームページでもご覧いただけます。

マップには、建築物の耐震化や擁壁・がけの改修等を支援する区の事業についても掲載しています。

区長 中山 弘子

大きな地震は、いつ、どこで発生するか分かりません。被害を最小限にするため、また、自らの生命や財産を守るため、まちの状況を確認し、地震に対する備えを考えましょう。
新宿区地震ハザードマップには、「急傾斜地崩壊危険区域・箇所」、「液状化の可能性がある地域」及び「地震に関する地域危険度測定調査結果(第7回・東京都発表)」などのまちの状況を掲載しています。

この中には、昨年9月から施行した引き防止条例も大きく役立っています。地域の皆さんを中心に、警察の協力を得てパトロールを実施した結果、場所によっては3割近く、犯罪の発生率が下がっています。引き続き、警察や地域の皆さんとともに犯罪防止に取り組み、安全で安心できる新宿区づくりに努力を続けてまいります。

厳しい寒さが続きますが、光は明るくなり、春へと着実に歩みを進めています。水仙や梅の花が目を惹きつけ、「春はもうすぐ」と香りの便りも運んでいます。▼今月24日、三栄町に健康・福祉・清掃の複合施設がオープンします。多様な機能を持つ6つの施設が一緒に、多目的に利用できる集合室も整備しています。四谷保健センター、訪問看護ステーション、四谷高齢者総合相談センターをここに集約するとともに、女性の健康支援センターと社会福祉協議会東分室を新設して、地域における健康と福祉を守る中核施設となります。また、新宿東清掃センターは念願の車庫を整備して、より一層、地域の皆さまとともにごみの減量リサイクルの推進に力を尽くしてまいります。▼新設の「女性の健康支援センター」は、女性特有の健康課題に対応した健康づくりを、家族や地域の健康づくりの一環として応援する施設であり、女性が気軽に相談できて、学び・体験し、集い・つながることを目的としています。3面の記事のように、「女性の健康週間」に合わせてオープニングイベントを開催しますので、ぜひご参加ください。また、集雲室も積極的にご利用いただければと思います。▼さて、新宿区の刑法認知件数は、新宿駅周辺という全国有数の繁華街を抱えていることもあり、一昨年は23区中ワースト1でしたが、昨年は件数を千件以上減らさせ、3番へと改善することができました。▼これには、昨年9月から施行した引き防止条例も大きく役立っています。地域の皆さんを中心に、警察の協力を得てパトロールを実施した結果、場所によっては3割近く、犯罪の発生率が下がっています。引き続き、警察や地域の皆さんとともに犯罪防止に取り組み、安全で安心できる新宿区づくりに努力を続けてまいります。

コラム 新宿 まち・人・しごと